

株主・投資家の皆様へ

LINTEC

# WAVE

リンテックウェーブ

*Linking  
your  
dreams*

MARCH 2021

# 82

● 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長  
社長執行役員 **服部 真**

● スペシャルレポート

持続的成長を見据えた  
リンテックの取り組み

第127期  
(2021年3月期)  
第3四半期  
決算情報

証券コード：7966



表紙：きらめき

はり絵画家・内田正泰氏は、独自の技法で色紙をちぎって貼り重ね、日本の美しい自然を彩り豊かに表現。四季折々の風や空気、音や薫りを感じさせ、誰もが抱く「心の原風景」を思い起こさせてくれます。

## 目次

### 2 連結業績推移

### 3 株主・投資家の皆様へ

代表取締役社長  
社長執行役員

服部 真

### 4 スペシャルレポート

持続的成長を見据えた  
リンテックの取り組み

### 8 トピックス

### 9 新聞広告シリーズ

### 10 決算情報

### 12 セグメント情報

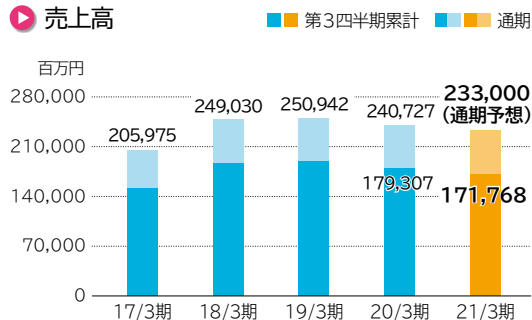
### 15 株式情報

#### (免責事項)

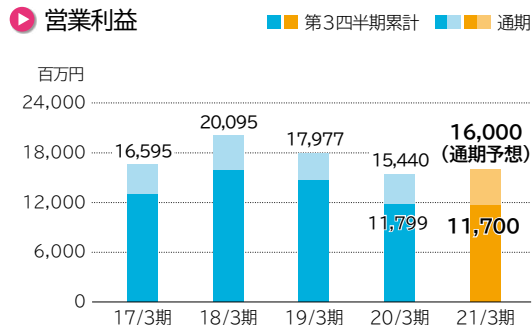
業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などはさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

## 連結業績推移

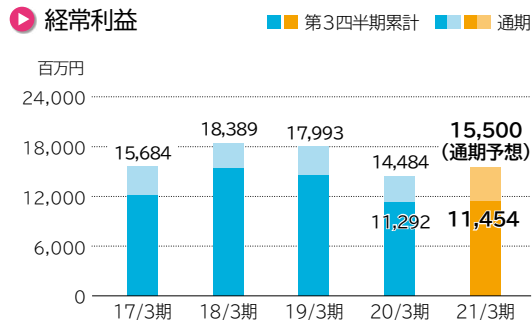
### 売上高



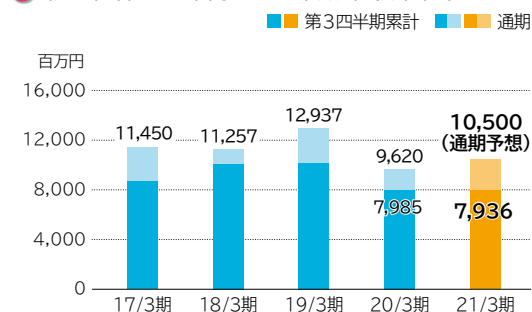
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



▶ 2021年3月期第3四半期連結累計期間（前年同期比）

売上高

**171,768** 百万円 （4.2%減）

営業利益

**11,700** 百万円 （0.8%減）

経常利益

**11,454** 百万円 （1.4%増）

親会社株主に帰属する四半期純利益

**7,936** 百万円 （0.6%減）



代表取締役社長  
社長執行役員 **服部 真**  
はっとり まこと

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループの2021年3月期第3四半期連結累計期間の業績は、半導体・電子部品関連製品が好調な需要に支えられ順調に推移した一方、他の製品は第3四半期に入って受注の回復が見られたものの、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響を受けて総じて低調に推移し、上記のとおりとなりました。

通期連結業績につきましては、電子・光学関連製品の需要が想定を上回る見込

みであることに加え、他の製品についても受注が回復傾向にあることから、2020年11月9日に公表した通期連結業績予想を下記のとおり上方修正いたしました。

この4月からは、長期ビジョンに基づく新中期経営計画がスタートします。2030年を見据えて当社グループのあるべき姿を描き、その実現に向けて3か年ごとの中期経営計画を着実に推進していくことによって、社会と共に持続的成長を目指してまいります。

株主・投資家の皆様には、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

| 2021年3月期連結業績予想      |   |                             |                                 | 2020年3月期    |
|---------------------|---|-----------------------------|---------------------------------|-------------|
|                     |   | 前回発表予想                      | 今回修正予想（増減率）                     | 実績          |
| 売                   | 上 | 高                           | 2,260億円 ▶ <b>2,330億円（3.1%増）</b> | 2,407億27百万円 |
| 営                   | 業 | 利                           | 130億円 ▶ <b>160億円（23.1%増）</b>    | 154億40百万円   |
| 経                   | 常 | 利                           | 125億円 ▶ <b>155億円（24.0%増）</b>    | 144億84百万円   |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 |   | 85億円 ▶ <b>105億円（23.5%増）</b> |                                 | 96億20百万円    |

# 持続的成長を見据えた リンテックの取り組み

当社が将来にわたって成長を遂げていくためには、既存事業の拡大はもちろん、業務の効率化や従来の技術の枠に捉われない新たな事業・製品の創出が不可欠です。ここでは、当社が持続的な成長を見据えて進めている取り組みや製品開発の最新動向についてご紹介します。



文京春日オフィス

〒112-0002 東京都文京区小石川1-1-1  
文京ガーデン ゲートタワー 8F

## ■ 営業統括拠点を移転し、業務効率向上へ

昨年11月に営業統括拠点の「飯田橋オフィス」を近隣の後樂園駅・春日駅に直結するビルに移転し、「文京春日オフィス」として業務を開始しました。旧オフィスで6フロアにわたっていた執務室や会議室、ショールームなどを2フロアに集約。従業員のパソコンを持ち運びが可能なモバイル端末に変更することで、個人の固定席を設けず、業務内容に応じて自由に座席を選択できる「フリーアドレス」を導入しました。また、伝票類や保管書類といった紙を電子化することで「ペーパーレス化」も推進。社内コミュニケーションのさらなる活性化や業務の効率化を促すオフィス環境を新たに整備しました。在宅勤務も含めた柔軟な働き方を定着させることで、コロナ禍における出社比率も抑制しています。





開放感のあるフロア環境を実現し、「フリーアドレス」を前提にカウンターテーブルやソファなども配置した新オフィス。次なる成長に向けた新たな発想を生み出す起点に

## ▶新オフィス紹介



フロア全体でセキュリティー性の高いワイヤレス通信が利用できるほか、執務室内に大型ディスプレイを設置したスペースもあり、円滑なコミュニケーションをサポート



ペーパーレス化に向けてシステムを整備し、文書管理ルールを徹底することで、机や床面にもものを置かない「クリアデスク」「クリーンオフィス」を実践



大会議室にも大型ディスプレイを設置し、充実したプレゼンテーション環境を整備。ビデオ会議システムにより、安定した接続環境で遠隔拠点との会議が可能



これまでのような製品自体の展示よりも、デジタルコンテンツを重視したショールームを新設し、当社の技術力や事業の可能性などをしっかりと訴求

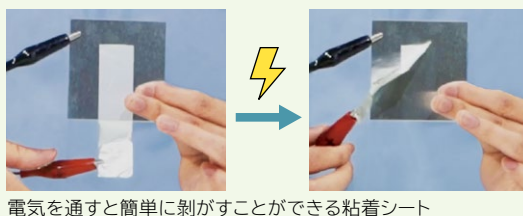
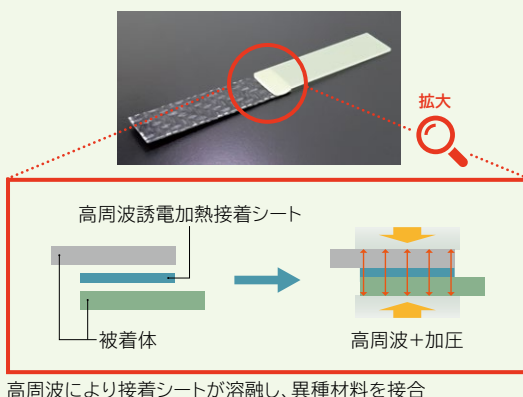
## ■既存の技術領域を超える製品開発を推進

当社では、営業の統括拠点である事業統括本部内に設けた事業開発室と研究開発本部を中心に、これまでの技術領域にはない分野の製品開発を推進しています。新たな事業の柱となる製品の創出に向けて、さまざまな開発品の早期実用化を目指しています。

### リサイクルなどを考慮した粘・接着シート —— 高周波誘電加熱接着シートなど

高周波を当てると熔融し、ステンレスと樹脂など異種材料を接合することができる接着シートの提案を進めています。従来の液状接着剤と同等の接着強度がありながら作業時間を短縮でき、高周波を再度当てれば接合物を容易に解体してリサイクルすることが可能です。自動車や建材、アパレル分野など幅広い用途での展開を目指しています。

そのほか、電気を通すことで粘着力が大幅に低下する特殊粘着シートも開発。電子機器や自動車関連の部材を接合する用途での採用が期待され、金属やプラスチック部材のリサイクルやリユース(再利用)の促進に貢献します。



### 熱の特性を利用したシート部材 —— 高透明フィルムヒーターなど

電気を通すと発熱するフィルムヒーターの開発にも注力しています。当社独自の配線技術・シート技術を駆使して高い透明性と伸縮性を実現し、自動車や通信設備のセンサー部分をはじめ、信号機・標識などへの着雪・着氷を防止する材料として提案しています。

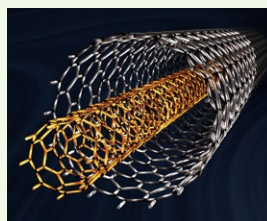
そのほか、工場の排熱などを電気エネルギーに変換できる薄型熱電発電シートや、電気を流すと熱を吸収・放出するペルチェ効果を利用した薄型軽量冷却シートなどの開発も進めています。



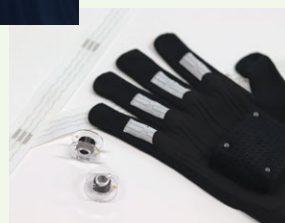
自動車のセンサー部分などへの使用を想定するフィルムヒーター

## 次世代材料の実用化へ ―― カーボンナノチューブ製品

米国・テキサス州の研究開発拠点であるナノサイエンス&テクノロジーセンター(NSTC)では、カーボンナノチューブのシート化技術の確立などに注力してきました。カーボンナノチューブは炭素でできた直径がナノ(10億分の1)メートルレベルの筒状の素材で、軽量ながら強度に優れ、高い導電性と熱伝導性を有しています。NSTCではカーボンナノチューブをシート状と糸状に加工する技術を開発し、他の素材にはない独自の特性や機能を生かして、センサー用途などで市場開拓を図っています。



カーボンナノチューブ



糸状にしたカーボンナノチューブをグローブに編み込み、センサーとして活用

### INTERVIEW

営業部門のトップである事業統括本部長に、文京春日オフィスへの移転や新事業の創出などについて話を聞きました。

#### 持続的成長を目指し、新たなイノベーションを

新オフィスに移転して数か月が経ちましたが、期待していたとおり事業部門間の交流が活発になり、新しいアイデアを生み出すためのより良い環境ができました。書類の電子化も進んでおり、さらなる業務の効率化に向けたシステム導入も推進しています。新事業の創出については、特にエレクトロニクスや自動車分野での具現化を目指しており、産官学と連携した開発にも注力しています。当社グループが持続的な成長を果すためには、社会的課題の解決に貢献する製品の開発が不可欠です。従来の常識が覆るような新たなイノベーションを起こし、世の中になくてはならないリネテック製品をもっと増やしていきたいと考えています。



取締役常務執行役員  
事業統括本部長

かいや たけし  
海谷 健司



## 抗菌・抗ウイルス製品の開発・提案に注力

日常生活における衛生面への意識が高まる中、菌の増殖を抑える抗菌やウイルスの数を減少させる抗ウイルスといった機能を持つ製品へのニーズが増加しています。こうした状況を受けて、当社では抗菌・抗ウイルス性を付与した各種製品の開発と市場投入を進めています。

昨年9月、ラベルの表面に貼って耐久性などを付与するラミネートフィルムに抗菌加工を施したアイテムを発売。さらに12月には、抗ウイルス加工を施した特殊粘着フィルムの販売を開始し、手すりやテーブル、ドアノブなどへの施工に適したタイプと、屋内に掲出するポスターや看板などへの貼付に適したタイプをラインアップしました。この春にも新製品の発売を予定しており、今後も抗菌・抗ウイルス製品の開発・提案に注力し、社会の安心・安全へのニーズにお応えしていきます。



各種表示ラベルなどに抗菌性を付与できるラミネートフィルム



特殊粘着フィルムは、多くの人の手が触れやすい階段の手すりなどにも施工可能

## 抗菌・抗ウイルス製品の拡販に向けて

当社は、抗菌・抗ウイルス・防カビ加工製品の普及促進を目的として関連メーカーや試験機関などによって設立された抗菌製品技術協議会（SIAA）に加盟しています。SIAAは抗菌・抗ウイルス・防カビ加工製品に求められる品質や安全性に関する基準を定め、その認証機関として基準を満たす製品に「SIAAマーク」の表示を認めています。当社では各種抗菌・抗ウイルス製品について右記のマークの認証取得を推進するとともに、製品のさらなる拡販と浸透に向けて活用していきます。



※ 抗菌・抗ウイルス性能は、フィルム表面に菌やウイルスが直接付着しないと発揮されません。また、抗菌性能評価試験「ISO 22196」および抗ウイルス性能評価試験「ISO 21702」に規定される菌・ウイルスでの検証結果であり、全ての菌やウイルスに対して効果があるわけではありません。



# リンテックの エコひいき

小さなことから一つずつ  
リンテックの環境配慮

「リンテックのエコひいき」をテーマに、皆様の身の回りで活躍する当社のさまざまなエコロジー製品や、環境配慮への取り組みを影絵風のビジュアルを使って表現した新聞広告シリーズです。

## 【掲載紙】

日本経済新聞、讀賣新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報



## 1月 January 掲載広告

日当たりが悪く、室内が暗くなりがちな建物で効果を発揮するのが当社の省エネ・採光フィルムです。窓ガラスに貼ることで外からの光を天井などに効率良く反射・拡散。室内全体を明るくすることができ、照明電力を削減しながら快適な空間を実現します。



## 2月 February 掲載広告

屋外用板用のフィルムには、雨や雪、太陽光などの影響を受ける過酷な環境下での耐久性が求められます。当社グループでは、最大約8年\*にわたって使用可能な屋外耐久性粘着フィルムを各種ラインアップ。製品の長寿命化で、省資源に貢献します。

\*保証値ではありません



## 3月 March 掲載広告

今年度の新聞広告では、環境をテーマにさまざまな製品や取り組みを紹介してきました。私たちはモノづくりを担う企業として、こうした一つずつの積み重ねが未来を変えると信じています。その思いを大切に、これからも新製品の開発に努めていきます。

詳しくはwebサイトに掲載中!

## DREAM FACTORY

[www.lintec.co.jp/dream/ad](http://www.lintec.co.jp/dream/ad)

## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要約)

| (単位：百万円) | 当第3四半期<br>連結会計期間 | 前連結<br>会計年度 |
|----------|------------------|-------------|
| 流動資産     | 166,201          | 163,660     |
| 固定資産     | 111,682          | 115,311     |
| ① 資産合計   | 277,883          | 278,972     |
| 流動負債     | 64,669           | 66,119      |
| 固定負債     | 20,478           | 20,554      |
| ② 負債合計   | 85,147           | 86,674      |
| ③ 純資産合計  | 192,735          | 192,298     |
| 負債純資産合計  | 277,883          | 278,972     |

### 四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

| (単位：百万円)               | 当第3四半期<br>連結累計期間 | 前第3四半期<br>連結累計期間 |
|------------------------|------------------|------------------|
| ④ 売上高                  | 171,768          | 179,307          |
| 売上総利益                  | 42,388           | 44,075           |
| 販売費及び<br>一般管理費         | 30,687           | 32,275           |
| ⑤ 営業利益                 | 11,700           | 11,799           |
| 経常利益                   | 11,454           | 11,292           |
| 税金等調整前<br>四半期純利益       | 11,484           | 11,292           |
| ⑥ 親会社株主に帰属する<br>四半期純利益 | 7,936            | 7,985            |
| 四半期包括利益                | 6,003            | 5,217            |

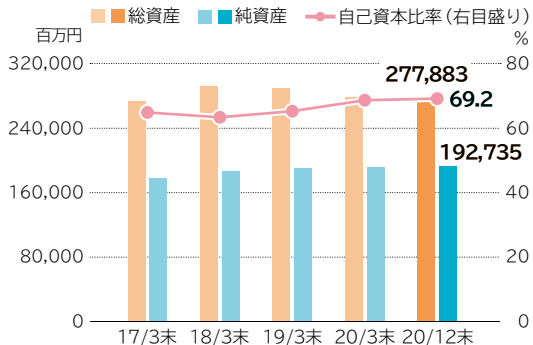
### □ポイント！

- ① 資産合計 現金及び預金が増加しましたが、たな卸資産、のれんが減少したことなどにより、総資産は10億88百万円減少しました。
- ② 負債合計 支払手形及び買掛金が増加しましたが、1年内返済予定の長期借入金、未払法人税等が減少したことなどにより、負債は15億26百万円減少しました。
- ③ 純資産合計 為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したことなどにより、純資産は4億37百万円増加しました。
- ④ 売上高 アドバンストマテリアルズ事業部門は増加しましたが、そのほかの事業部門が新型コロナウイルスの感染拡大による需要低迷を受けて減少したことなどにより、売上高は75億39百万円減少しました。
- ⑤ 営業利益 アドバンストマテリアルズ事業部門の増収効果やパルプ・石化原材料価格の下落などがありましたが、そのほかの事業部門の販売数量の減少などにより、営業利益は98百万円減少しました。
- ⑥ 親会社株主に帰属する四半期純利益 営業利益の減少などにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は49百万円減少しました。

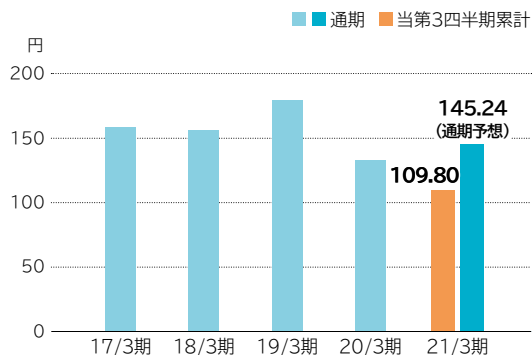
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

| (単位：百万円)             | 当第3四半期<br>連結累計期間 | 前第3四半期<br>連結累計期間 |
|----------------------|------------------|------------------|
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー | 23,904           | 12,100           |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー | △6,057           | △9,764           |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー | △13,969          | △9,644           |
| 現金及び現金同等物の<br>四半期末残高 | 55,456           | 50,011           |

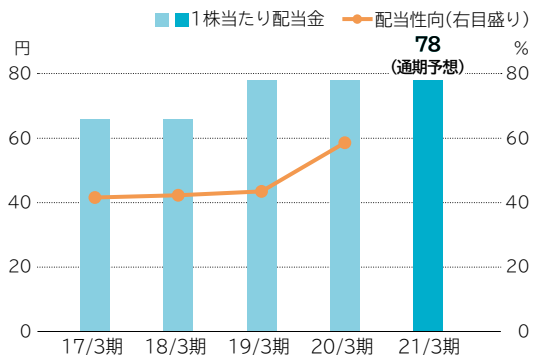
## 総資産・純資産・自己資本比率



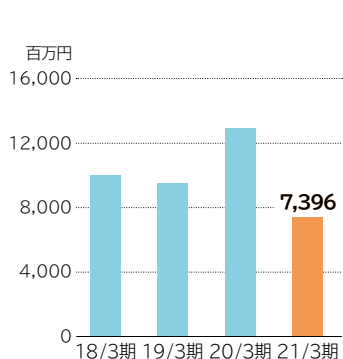
## 1株当たり四半期(当期)純利益



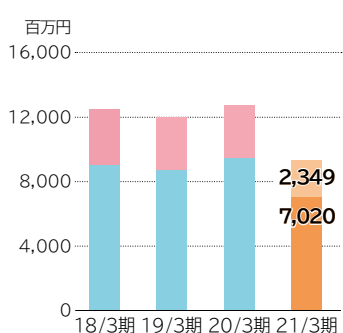
## 1株当たり配当金・配当性向



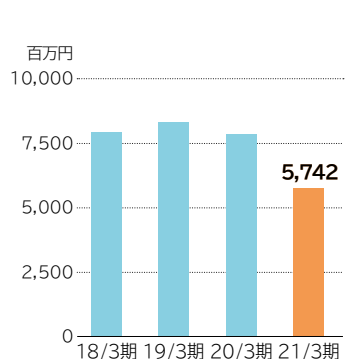
## 設備投資額



## 減価償却費 のれん償却額



## 研究開発費



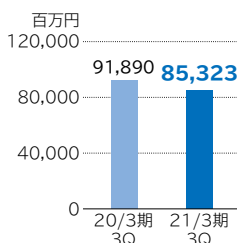


## 印刷材・産業工材関連

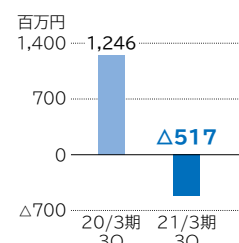
売上高 **853億23百万円** (7.1%減)

営業利益 **△5億17百万円** (—)

### 売上高



### 営業利益



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**印刷・情報材事業部門** 売上高 **628億20百万円** (4.1%減)

### 主要製品

- シール・ラベル用粘着紙・粘着フィルム
- バーコードラベル用粘着紙・粘着フィルム

シール・ラベル用粘着製品は、国内では食品や通販関連は堅調に推移し、自動車関連は第3四半期以降回復したものの、化粧品関連を中心にさまざまな分野でラベル需要が減少したことにより低調に推移しました。海外においては、米国では前年同期並みとなりましたが、中国やアセアン地域は低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



**産業工材事業部門** 売上高 **225億2百万円** (14.7%減)

### 主要製品

- 自動車用粘着製品
- 工業用粘着テープ
- ラベリングマシン
- ウインドーフィルム
- 内装用化粧フィルム
- 屋外看板・広告用フィルム

二輪を含む自動車用粘着製品やウインドーフィルムは、第3四半期以降需要が回復しましたが、期前半の落ち込みをカバーするまでには至らず大幅に減少しました。また、各種イベントの中止などに伴い、装飾関連フィルムの需要が低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



※ セグメント別の営業利益は、セグメント間取引消去前の数値に基づいています。

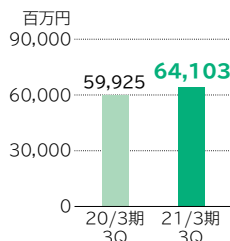
※ ( ) 内は前年同期比

## 電子・光学関連

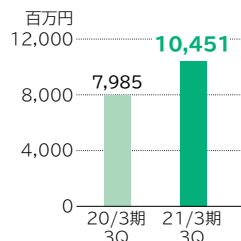
売上高 **641億 3百万円** (7.0%増)

営業利益 **104億 51百万円** (30.9%増)

### 売上高



### 営業利益



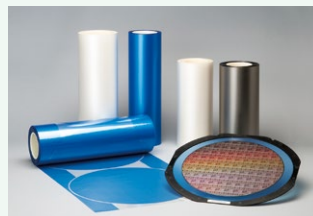
当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**アドバンスマテリアルズ事業部門** 売上高 **397億23百万円** (19.0%増)

#### 主要製品

- 半導体関連粘着テープ
- 半導体関連装置
- 積層セラミックコンデンサ関連テープ

5G関連やパソコン、スマートフォンなどの需要増加により、半導体関連粘着テープおよび関連装置、積層セラミックコンデンサ関連テープともに好調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ増加しました。



**オプティカル材事業部門** 売上高 **243億80百万円** (8.2%減)

#### 主要製品

- 偏光・位相差フィルム／粘着加工
- 偏光フィルム／表面加工

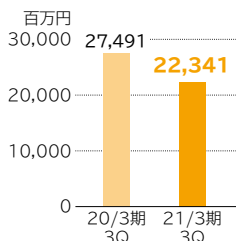
光学ディスプレイ関連粘着製品は、第3四半期に入り大型テレビ用やスマートフォン用などの需要が回復しましたが、期前半の落ち込みをカバーするには至りませんでした。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



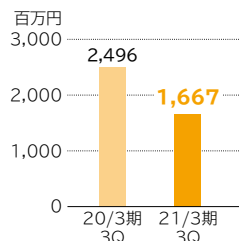
## 洋紙・加工材関連

売上高 **223億41** 百万円 (18.7%減)営業利益 **16億67** 百万円 (33.2%減)

売上高



営業利益



当セグメントの事業部門別の売り上げの概況は次のとおりです。

**洋紙事業部門** 売上高 **104億44** 百万円 (16.5%減)

## 主要製品

- カラー封筒用紙
- 色画用紙
- 特殊機能紙
- 高級印刷用紙
- 高級紙製品用紙

主力のカラー封筒用紙をはじめ、色画用紙や耐油耐水紙など、全般的に需要低迷の影響を受けて低調に推移しました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



**加工材事業部門** 売上高 **118億96** 百万円 (20.6%減)

## 主要製品

- 粘着製品用剥離紙
- 光学関連製品用剥離フィルム
- 合成皮革用工程紙
- 炭素繊維複合材料用工程紙

合成皮革用工程紙は第3四半期に入り自動車用で需要の回復が見られましたが、航空機用などの炭素繊維複合材料用工程紙や一般粘着製品用剥離紙が需要低迷の影響を大きく受けました。この結果、当事業部門の売上高は前年同期に比べ減少しました。



## 売上高構成



## 営業利益構成



調整額 98百万円

# 株式情報 (2020年12月31日現在)

## 株式の状況

|                                    |              |
|------------------------------------|--------------|
| 発行可能株式総数                           | 300,000,000株 |
| 発行済株式の総数<br>(ただし自己株式4,338,966株を除く) | 72,291,774株  |
| 単元株式数                              | 100株         |
| 株主数                                | 6,258人       |

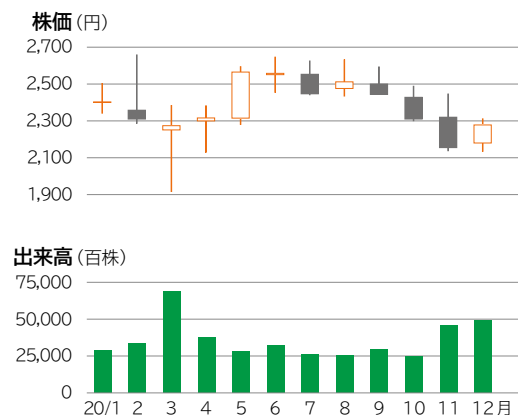
## 大株主の状況 (上位10人)

| 株主名                         | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|-----------------------------|----------|----------|
| 日本製紙株式会社                    | 21,737   | 30.06    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)    | 4,729    | 6.54     |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口)         | 4,224    | 5.84     |
| 全国共済農業協同組合連合会               | 2,625    | 3.63     |
| 庄司 たみ江                      | 1,796    | 2.48     |
| 塩飽 恵以子                      | 1,543    | 2.13     |
| 株式会社かんぽ生命保険                 | 1,415    | 1.95     |
| リンテック従業員持株会                 | 1,085    | 1.50     |
| 株式会社日本カストディ銀行 (信託口7)        | 896      | 1.23     |
| JP MORGAN CHASE BANK 385781 | 828      | 1.14     |

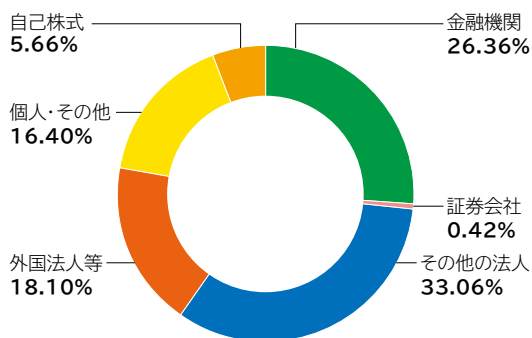
注1. 当社は自己株式4,338,966株を保有しておりますが、上記表からは除外しております。

注2. 持株比率の算定に当たっては、自己株式を控除して計算しております。

## 株価および出来高の推移 (2020年1月～2020年12月)



## 所有者別分布比率





## 会社概要 (2020年12月31日現在)

|       |                                                                                                                                                   |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 社名    | リンテック株式会社 (英文: LINTEC Corporation)                                                                                                                |
| 本社    | 東京都板橋区本町23-23                                                                                                                                     |
| 設立    | 1934年10月15日                                                                                                                                       |
| 資本金   | 232億8,531万5,161円                                                                                                                                  |
| 事業年度  | 毎年4月1日から翌年3月31日まで                                                                                                                                 |
| 従業員数  | 連結: 4,948人 単体: 2,584人 (2020年3月31日現在)                                                                                                              |
| 事業所   | 営業拠点: 東京、札幌、名古屋、大阪、福岡など全国11か所<br>生産拠点: 吾妻(群馬県)、熊谷・伊奈(埼玉県)、千葉(千葉県)、<br>龍野・新宮(兵庫県)、小松島(徳島県)、三島・土居・新居浜(愛媛県)<br>研究拠点: 蕨・さいたま(埼玉県)<br>海外事務所: ハノイ(ベトナム) |
| 連結子会社 | 国内: 3社 海外: 38社                                                                                                                                    |

## 株主メモ

|                           |                                                                                      |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 定時株主総会                    | 6月                                                                                   |
| 配当基準日                     | 期末: 3月31日 中間: 9月30日                                                                  |
| 株主名簿管理人および<br>特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内1-4-5<br>三菱UFJ信託銀行株式会社<br>〒137-8081<br>新東京郵便局私書箱29号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 |
| ・郵便物送付先                   | 0120-232-711                                                                         |
| ・フリーダイヤル                  |                                                                                      |
| ・ホームページアドレス               | www.tr.mufg.jp/daikou                                                                |

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。

### 法定公告掲載ホームページアドレス

www.lintec.co.jp/ir/stock/koukoku.html



● 本社 〒173-0001 東京都板橋区本町23-23  
URL www.lintec.co.jp

社名の由来は、リンケージ(結合)とテクノロジー(技術)。ロゴマークは、地球を表す楕円にLINTEC・LINKAGE(結合)・LOYALTY(誠実)の三つの「L」で表現したウェーブ(波)を組み合わせでデザイン。世界を舞台に飛躍していこうという決意を込めています。

### IRメール配信サービス のお知らせ



当社では新製品情報なども含め、株主・投資家の皆様へさまざまなニュースを幅広くお届けするため、IRメール配信サービスをご提供しています。配信をご希望の方は、下記の当社株主・投資家情報サイトよりご登録をお願いいたします。

[www.lintec.co.jp/ir](http://www.lintec.co.jp/ir)



※スマートフォンなどで上記の二次元コードを読み取ると、登録ページへ簡単にアクセスできます。

発行 広報・IR室 2021年3月  
TEL. (03) 5248-7741  
FAX. (03) 5248-7754



ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。